

読書活動推進NEWS

福島県教育庁南会津教育事務所 総務社会教育課

「朝の読書 読み聞かせの時間」訪問 荒海小学校

9月16日(木) 荒海小学校朝の読書の時間に読み聞かせが行われている1,2年生の教室を訪問しました。

《本日のメニュー》

2年生『おじいちゃんのごらくごらく』



おじいちゃんと孫の絆を描き出したお話です。キーワードはごらく(極楽)。おじいちゃんとの楽しい時間と、やがて訪れる死。2つのまったく異なる場面を「ごらく」が結びつきます。登場人物の心情が伝わってくる文章と表情豊かな絵は、心を揺さぶります。

1年生『ありえない!』



カンガルーのおなかから顔を出しているのは誰?へびのしっぽはどこいった?スピードは出ないけどどこまでも行けるタクシーってどんなの?見開きごとに奇妙な組み合わせや、立場が逆転したものが登場します。エリック・カールさんの絵本。



【しっとりとした雰囲気でお話に引き込まれていく2年生】



【「ありえな〜い!」抜群の反応で読み聞かせを満喫1年生】



毎月読み聞かせに学校を訪れるのを楽しみにしているボランティアの鈴木美智子さんと星玲子さん。

お二人は選書の難しさを話してくれました。「図書室や学級文庫で、すでに読んだのでは」「読み手の読んであげたい本と、子供たちの読んでほしい本にギャップはないか」「読み継がれている本か、最新の本か」…。昨年読み聞かせした本の情報をチェックし、季節感も考えて選書しているそうです。今回は「敬老の日」をイメージしてみました。難しいけど楽しみでもあるようです。

また、子供たちの反応も楽しみの1つ。今回の1年生のような元気な反応も、2年生の集中して聞いている姿もどちらもうれしいそうです。

来月に向けて選書が始まりますが、あっという間に感じるそうです。

見たことのある本でも、何度読んだ本でも、ボランティアさんに読んでもらうと感じ方も雰囲気も変わります。教職員だけでなく、地域の方と触れ合う時間は、児童にとってたいへん貴重な時間であり、ありがたい経験となっています。

これからも「読んであげたい」と思った本を児童に聞かせてあげてほしいと思います。

相沢 周 校長先生



【お気に入りはこの場面かな?】



【ありがとうございました!】